

い
ま
風

水曜日

軽くて、さつと楽に履ける男性向けのスリッポンが人気だ。足元が涼しげで、夏場にはショートパンツなどにも合わせやすい。ここ数年、落ち着いた色合いや上品な素材、デザインのものが増え、休日だけでなく、仕事場にも取り入れやすくなっている。

(生活部 岩浅憲史)

スリッポンとはスリッパ・オン・シューズの略。靴いもがなく、足を滑り込ませるようにして履く靴で、脱ぎ履きしやすい。パーソナルスタイルリストの橋本ワコさんは「甲の部分にメッシュ(網目)素材を用いるなど機能的な製品も多く、足元を涼しげに演出できます」と話す。

「公務員ランナー」として



足元で目立たないニューズインソックス



スポーツブランドのスリッポン(左からニューブランド、ス、スケッチャーズ)

知られる川内優輝さんの弟でプロランナーの鮮輝さん(26)は、スリッポン愛用者の一人だ。「練習後、脚が疲れていても、軽くて楽なので快適です」と話す。

ナビゲーター

「男」

パーソナル
スタイルリスト

橋本 ワコさん



はしもと・わこ パーソナルスタイルリスト。1971年、福島県生まれ。大学卒業後、メイクやスタイリングを学び、独立。2013年、一般社団法人「日本スポーツビューティ協会」を設立。スポーツメイクなども指導する。

橋本さんは「衛生面を考慮し、はだしでは履かないで」と話す。見た目が気になるなら、「シューズインソックス」などと呼ばれる、靴からほとんどはみ出ない靴下をはく。パンツの裾をロールアップして足首を出すと、より軽快に

見えるという。川内さんをモデルに、橋本さんからコーディネート提案してもらった。



落ち着いた色ならクールビスにも取り入れやすい
※撮影協力 バナナ・リパブリック

休日向けは、メッシュ素材の紺のスリッポンを、薄手で麻素材の白のシャツや紺のショートパンツと合わせた。全体が爽やかな印象。膝下を露出させる場合、足首にミサンガを添えるのもおしゃれだ。スポーツブランドのスリッポンと合わせた。

スリッポン 足元涼しげ



爽やかな紺色のスリッポンを履く川内さん
*撮影協力 ヴァンズ(東京都内)＝奥西義和撮影



革靴風のスリッポンも(左からバナナ・リパブリック、ヒロシ ヲボウチ、ジュー)

表面を細かく起毛加工した「ヌバック」風のスリッポンは上品に見える。靴底の縁の色は、黒や紺など甲と同系色なら、より落ち着いた雰囲気。飾りのひも穴や留め具が付いたものもある。はっ水加工が施されたものは、汚れや傷がつきにくい。「靴底に溝がしっかりあるものなど、雨の日でも滑りにくいものを選んで」と、橋本さんは話す。

きれい

きれい

KIREI



インソールで美脚に

スリッポンは底面が薄く、平らなものも多い。市販のインソール(中敷き)を用いると、着地した時の体への衝撃を和らげるだけでなく、脚をスラリと長く見せてくれる効果もある。低反発素材のインソールを靴の内側に入れる＝写真＝と、かかとを2、3センチ高くできる。「きつくなってしまうのは本末転倒。歩きやすく、足の甲が圧迫されないものや、蒸れにくいものを選びましょう。スタイルアップになります」と橋本さんは話している。